

31-1120

金沢大学薬学部「くすりと健康プラザ」の社会貢献活動

○伯水 英夫¹, 鈴木 永雄¹, 大柳 賀津夫², 山田 順子², 塩村 和子², 稲野 彰洋², 石橋 弘行¹, 辻 彰¹ (¹金沢大院薬,²NPO 健康環境教育の会)

【目的】金沢大学薬学部では社会貢献事業として、平成 15 年 10 月に金沢大学薬学部「くすりと健康プラザ」を開設し、市民からの薬と健康に関する質問への回答、薬剤師と薬学部の情報交換、情報発信の場として活用している。地域住民の健康維持向上に向け 1 年間に実施した活動成果と評価を報告する。

【方法】「くすりと健康プラザ」は NPO 健康・環境・教育の会(NPO HEART)が金沢大学医学部附属病院前に開設したアカンサス薬局(鈴木永雄教授が薬局長担当)の 2 階に同年 10 月設置された。金沢大学教員が駐在して市民のくすりと健康に対する直接相談および電話・FAX での質問に対応した。同時に薬学部ホームページ上に「くすりと健康プラザ」<http://www.kanazawa-univ.jp/kenko/index.html> が立ち上げられ、その質問コーナーから薬と健康に関する相談を受けた。公益性があると判断した質問・回答は Q&A コーナーに掲載した。質問の回答には薬学部教員の他、本学会で別途発表の NPO HEART「くすりメイト COM.」の会員が参画した。情報発信活動としては「くすりと健康プラザ」が位置する金沢市薬剤師会第 8 部会(15 加盟薬局)、NPO HEART と連携して市民・薬剤師を対象に特定疾患の病態・薬物治療に関するセミナー、講演会を開催した。

【結果および考察】1)開設後 1 年間で寄せられた質問のうち、Q&A として掲載した項目は 68 件、ホームページへのアクセスは約 5000 件であった。質問内容ではセルフメデイケーションやサプリメントに関するものが多く、薬に関する質問では服用時間、飲みやすくする方法、使用期限、相互作用など多種多様であった。2)多様な質問への対応や情報提供では薬剤師と薬学部教員が各々の専門性を生かして正確で的確な回答の作成が求められることが多く、両者の連携が有効である。